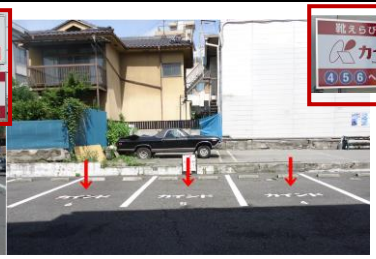
INFORMATION

＜大切なお知らせ＞　専用駐車場情報

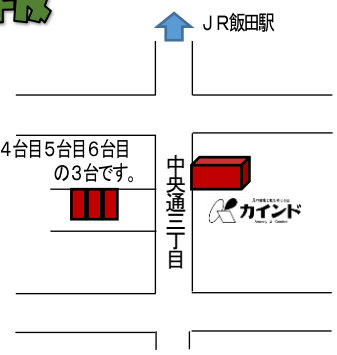
いつもご利用いただいていました店舗横の駐車場（２台分）は、2016 年 6 月 16 日より使用できなくなりました。中央通りを挟んだ店舗斜め前の「VIVIAN さん」駐車場、4 台目、5 台目、6 台目の 3 台分が**カインドの専用駐車場**です。お車でご来店の際にはこちらの専用駐車場か、お近くの有料駐車場（駐車券あります）をご利用ください。

飯田駅に向かって行くと左側です。



４台目５台目６台目の３台です。

飯田駅から下りてくると右側です。



ホームページはこちら

●急な都合で、休みが変更になることもございます。最新情報は、ＨＰ(https://www.kind-iida.net/)でご確認下さい。

10月・11月・12月の営業のご案内

【2018 年 10 月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

○印　休みをいただきます。

【2018 年 11 月】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

【2018 年 12 月】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

＜いしつぶつがかり＞

2018/9/20 現在

お客様のお忘れ物です。お心当たりの方はご連絡下さい。

●メガネ（ワインの縁。弦の部分にステンドグラス風装飾）

●エコバック（ワイン地に黒の格子柄）●メガネ（細い茶色の縁）

●鍵（カウボーイの格好の犬のキーホルダー

●ブローチ（ゴールドとシルバーのねじったような円形）

●ご婦人用ジャケット（オークグレーのツイード素材。千鳥）

●黄緑縁のサングラス(子供用)

●ご婦人用傘（金茶に黒の縁。木製の柄。骨 24 本[一か所破損]）

飯田支店
料金後納郵便
ゆうメール
営業時間：10：00～19：00
定休日：毎週水曜日

VOL.17　2018年9月20日　疲れない靴　カインドで検　索

疲れない靴 カインド通信

発行：(有)カインド　〒395-0041 飯田市中央通り3-14　TEL:0265-23-9241

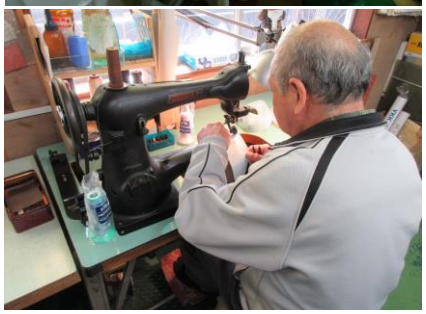
「通信」のバックナンバーは[ホームページ]で
https://www.kind-iida.net/

メールでのお問い合わせは
E-mail:kind@eagle.ocn.ne.jp

なんでカインドの靴はあんなに高いんな？？

是非お読みください。＜シューフィッターから本当にお伝えしたいこと＞

靴職人さんは履く方が「快適に歩ける」と喜んでもらえるようにと思いを込めて作ってくれているんです。



「カインドの靴は高いでな～」よく耳にする言葉です。その通り、カインドの靴は、一般的には高い物ばかりと言ってもいいと思います。それには、理由があります。今日はそんな思いを皆さんにお伝えしたいと思います。

どこへ行っても足の悩みが解消しないので、勇気を振り絞って私どもを訪ねて来ていただける方が大勢いらっしゃいます。私どもでは、足のサイズや状態を確認させていただいたり、お話をよく伺って、すべての方に快適に歩けることで日常生活をより豊かに送っていただけるお手伝いをしたいと思っています。

中途半端な靴をお勧めしても結局足の悩みを解決できないとまた違う靴を買わなければならないことになってしまいます。本当に安心してお勧めすることのできる靴をご提案したいと思うがあまりどうしてもお値段の張る靴になることがあります。

また、そのような靴を、作っていただく職人さんたちも、**履いていただいた方が快適に履いて喜んでもらえるように**との思いを込めて一足一足、丁寧に作ってくださいます。

私たちシューフィッターは、そんな思いのこもった靴の良さやお客様にとってお役に立てる部分について、お客様にお伝えし、お一人お一人の足に合わせて調整していくことで、快適に歩くことができるようにするお手伝いをすることが仕事だと思っています。靴の価格は、靴職人やシューフィッターの思いのこもった**履き心地料**なんです。

数年前から、靴業界でも、デフレの嵐が吹き荒れて、素晴らしい技術を持った優秀なメーカーさんがいくつも廃業せざるを得ない状況になってしまい、本当に役に立てる靴を作れるメーカーさんが激減してしまいました。これ以上、優秀なメーカーさんがなくなることのないように、私たちはその良さをお客様にお伝えしなければならない使命を背負っていると思います。手抜きをしない靴づくりのためには、適正な利潤をメーカーさんが得られなければ、履きやすくお役に立てる靴づくりもできなくなります。メーカーさんがなくなれば、本当に履きやすい靴が手に入らなくなります。　【P2に続く⇒】

靴の出前「履きごこち宅配便」ご利用ください。

店まで足をお運びいただけない方の為の「宅配便」です。お気軽にご用命ください。

●宅配地域：橋南・橋北・東野・丸山　●営業時間：12:00～17:00(定休日：水)

●申し込みはお電話で・・・0265-23-9241

●宅配手数料：無料・￥1,000(未購入の場合)　●修理宅配手数料：￥500/1回

【カインドからの重要なお願い】

靴は半製品

人間の足は100人100様です。その足に合わせる靴は既製品。すんなり合うほうが不思議です。不都合がありましたら、必ずお知らせください。調整させていただきます。「履きごこち」はお客様と私達シューフィッターの共同作業によって出来上がるものだと考えています。又、修理、メンテナンスも致しますので、遠慮なくお申し付け下さい。

なんでカインドの靴はあんなに高いんな？？<続き

【⇒P1 より】 また、私どもシューフィッターも、お客様に合った靴を提供するというサービスをさせていただくために適正利潤をいただいています。

そのために、私たちは、メーカーさんから仕入れる価格を値切ることもしません。また、お客様に販売する靴もお値引きすることができないのです。

安い靴には安い理由があります。安くする為には、特に、目に見えないところ(底やインソール、かかとの芯等)で材料の品質を落としたり、作業工程を省いたりします。そうしなければ会社も利益がでないので、経営が成り立たなくなります。

そこには、お客様の健康で快適歩行のことを思う気持ちよりも、靴をいかに安く作って簡単にたくさん売れるかということが、優先されてきてしまいます。そのようにできた靴が足にとっていい靴であるはずがありません。

私どもで仕入れている商品は、私たちシューフィッターのプロとしての目を通して、吟味し、私の店のお客様にこれならお勧めしてもいいと思える商品だけを仕入れています。見えないところ(底やインソール、かかとの芯等)もお客様の足を守るために手を抜かないで、材料も吟味して作られている、靴職人さんの思いのこもった靴を仕入れるようにしています。ただし、履く目的や足の状況によっては、私どもで仕入れた商品であってもお勧めしないことはよくあります。それは、お客様のためにならないと私たちが判断した時です。

私たちシューフィッターが一番つらいと思うことは、お買い求めいただいた靴が足に合わなくて具合が良くなかったと言われることです。

足は、すべての方が違います。その足に合わせて何度も微調整して足に合わせていくのが私たちの仕事です。足に合わないときは何度でも調整いたします。

Message from **Finn Comfort**

フィンコンフォートからのメッセージ

Finn Comfort をお買い上げのお客様へ

私たちは靴づくりにおいて、皆様の健康を実現し、ご満足いただくことを最も大切にしています。

FinnComfort®ブランドの品質は、原材料を注意深く選定することから始まり、製造工程で厳しい品質基準を満たすことで実現します。皆様のご期待に応える靴を作り出すために、開発と製造、機能性と履き心地において高度な水準と環境に優しい条件を定め、全ての靴のチェックを行っています。全ての靴の製造をドイツの自社工場で行うことも、製品の品質を常に保証し続けるためのこだわりです。

疲れにくく、心地良い歩行を存分にご体感いただけるよう、私たちはこれからも全精力を傾け、新しい製品のアイディアと快適な靴づくりを絶えず追求し続けていきます。FinnComfort®の靴を履くお客様が、常に笑顔でいてくださることが私たちの喜びなのです。

ヴァルディ社 会長
ハンス ヨアヒム ヴォルター

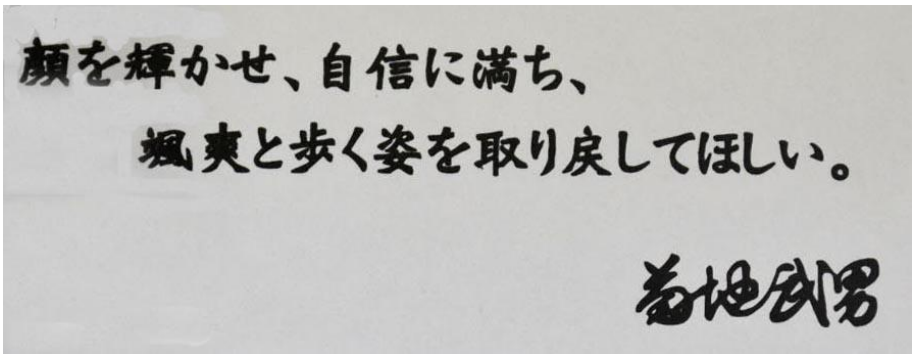
Ralph S. Wolter　Hans-Joachim Wolter　Jens Wolter

2年前には、念願であったFinn Comfort(ドイツ)の工場を訪問することもできました。

ただ、一つだけ私どもからお客様にお願いがございます。それは、**靴をチャント履いていただきたい**ということです。チャント履くとは、履くときは靴ベラを使ってかかとをつぶさないで履き、足のかかとを靴のかかとに合わせて、ひもやマジックは靴の中で足が動かないようにしっかりしめて履く、そして、脱ぐ時はひもをほどいて脱ぐことです。

最後に、ドイツのメーカーさんからのメッセージと、東京のあるメーカーさんの靴の箱のふたの裏に書いてある靴職人さんの思いをご紹介します。

私たちはこんな思いで作られている素晴らしいメーカーさん・靴職人さんの靴を取り扱うことができること、また、お客様にこんな素晴らしい靴をご提案できることを本当に幸せだと思って毎日店に立っています。



Finn Comfort の会長さんです。お昼を作っていただきました。

道標にしている「商業界」故・倉本初夫主幹の教え

＜小さい店だからできること！＞

「商業界」の故・倉本初夫主幹は、
「日本の商業が“流通業”という言葉を使うようになってから、とても大切なものをおざなりにするようになったんだよ」
商いとは「流して通す業」ではなく、「（一人ひとりのお客様に）小さく売る業」である――これが倉本主幹の教えです。
つまり・・・流通業が焦点を当てているのは、商品でありモノです。
しかし、小売業が対象としているのは、あくまで人でありお客様。
この認識の違いを大切にしてください。
いったい、あなたは何を見て商いをしているのか、と。

アマゾンジャパンが物流センターにロボットを導入し、さらなる効率化に邁進しています。自走式ロボット「アマゾン　ロボティクス」が在庫棚を持ち上げて、ピッキングする作業員の元まで自走するという仕組みです。
秒速は1．7メートル、最大300キロの重さまで対応できるとのこと。アメリカではすでに4万5000台が導入され、物流コストを押し下げ、配達スピードをさらに短縮化することに貢献しているといいます。まるで近未来SF映画のような光景です。

14兆円にまで拡大したインターネット通販市場の競争優位性は、その便利さと早さにあります。だから、こうした効率化は至上命題。これがモノを扱う流通業の王道だと言ってもいいでしょう。
こうした傾向はさらに拍車をかけて伸展していくこととなるでしょう。

でも、私の店のように極小さな店の商いは、流通業か、小売業か、と問われれば、間違いなく「小売業」だと答えます。
一人ひとりのお客様に向き合い、その人に対してベストを尽くす
――これが小売業。
お客さまとの接点でいかに価値を高めるか――それを忘れないでやっていきたいと思います。「小さい店だからこそできること」なんです。

一時、私も大きな売り上げにあこがれて、伊那に出店したりしましたが、今振り返ってみると、何の理念もなく、ただ売り上げだけを見ていた気がします。そこには一人ひとりのお客様に向き合う思いはなかった気がします。その店も十数年前にやめて現在は飯田の店だけにしました。そして、自分の仕事は何なんだろうと改めて問い直してきました。小さいからこそできることがあるんです。それが・・・「一人ひとりのお客様に向き合い、その人に対してベストを尽くす」**これなんですね！！**それを目指して毎日楽しく仕事をしています。ありがたいことだと思っています。

倉本初夫先生のお父様、倉本長治先生の言葉です。大切にしたい言葉です。

「楽（らく）」には、二つの意味がある。①容易(easy)と②快適(comfortable)

履く時チョット手間はかかるけど、快適(comfortable)な靴をお勧めします。